「国民が主人公」の日本をめざして

「全国革新懇ニュース」から

日本の政治・社会を、国民の利益に沿って「よりよくしたい」との記事が満載。
購読料・年間1800円（送料込み・1部から自宅に郵送）

貴乃花光司さん
（第65代横綱・貴乃花部屋親方）

命を奪う戦争なんて、二度とあってはいけない。戦争の映像で機関銃などを見るのは大嫌いです。平和なくして日本は存在しないし、そこは不惜身命ですね。
（2012年7・8月合併号）

秋吉久美子さん
（女優）

（53歳）で大学院に入り、私的な目線のみではなく公的に自分がどう動くかを教えてもらいました。40年、女優として生きてきた自分の役割を公のなかできちんとしたいと思っています。
（2012年4月号）

林真理子さん（作家）

将来、「あのときに憲法を守らなかった私たちがいけなかったんだ」と言わないようにしたい。反対するものは反対しなきゃいけないと思っています。
（2011年7・8月合併号）

●グッズの紹介

←原発ゼロのぼり（左）と革新懇のぼり（右）。ともに1枚1,200円（送料込み）

↑憲法ステッカー1枚100円

革新懇

↑革新懇腕章
1枚500円
（送料込み）

日本の民主的再生へ――誕生は

革新懇が運動を始めたのは1980年のことです。

その年の初め、当時の社会党と公明党が日米安保条約と自衛隊を容認し、連合政権構想から日本共産党を排除する「社公合意」を締結。こうした財界中心・アメリカ言いなりの「オール与党」体制づくりの流れに屈せず、日本の民主的再生のために力を合わせて運動を起こすことが決定的に重要になっていました。

革新懇はこのことを先見的に見抜いた多くの無党派の個人・団体が、政党として革新の立場を貫く日本共産党とともに生みだした組織です。全都道府県での組織の誕生後、全国革新懇は81年5月26日、全国から327人が参加して結成されました。

希望ある日本への共同を広げる――目的、到達点は

革新懇は、「国民が主人公」の新しい日本を展望し、国民的共同を広げています。新しい日本の具体像は「3つの共同目標」=別掲に示されています。運動形態は、思想・支持政党の違いを超えて、目標や要求で力を合わせる統一戦線運動です。

日常の活動では、原発ゼロの日本、消費税増税反対、基地のない平和な日本、人間らしい雇用、地域医療の拡充など、国政の焦点や切実な要求の実現にとりくみつつ、希望ある日本への共同を広げています。

構成員は450万人。組織は全都道府県のほか、地域645、職場151、青年14の計810（2012年10月18日現在）に到達しています。

時代が前に動く音が聞こえる――飛躍のとき

いま、財界・アメリカ中心の政治の行き詰まりが浮き彫りになっています。

原発再稼働や環太平洋連携協定（TPP）参加、消費税増税などに反対する国民の運動はかつてない広がりをみせ、革新懇運動もその一翼を担っています。時代がグググッと前に動く音が聞こえてくるようです。

一方、憲法9条を改悪して「国防軍」を設ける右傾化の流れや、「君が代」強制・公務員への「思想調査」などの恐怖政治も台頭しています。

日本の政治は歴史的な岐路にあります。国民の運動といっそう連帯し、新しい日本への道をきり開こうではありませんか。

全国革新懇の「3つの共同目標」

❶ 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします

❷ 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします

❸ 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします